

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成19年4月30日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 へ

住所：〒509-0259  
岐阜県可児市愛岐ヶ丘3丁目87番地  
法人名：特定非営利活動法人 ピュア・マインド

代表者名： 内山 はるみ

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成18年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

障害者(児)支援事業

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立前事業助成	立ち上げ時期事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
-----------	------------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	995千円
実績額	995千円
差し引き額	0千円

4. 事業実施期間

平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日 ( 0年 12か月間 )

## 5. 実施した事業の実績・成果

### (1) 具体的な活動状況（実施日時、場所〔住所〕、対象者、参加者等）

#### 障害児童余暇活動支援

##### 映画会

実施日時 6月17日、7月16日、9月23日  
場 所 当法人拠点 Sunプレイス 可児市若葉台2-14  
対 象 者 障がい児童、保護者 参加者 22名 10名 8名

##### 夏休み合宿

実施日時 8月22日～8月23日  
場 所 当法人拠点 Sunプレイス 可児市若葉台2-14  
対 象 者 障がい児童 参加者 6名

##### 音楽療法(演奏会)

実施日時 11月17日 障害者ミュージシャンによるサックス演奏会  
場 所 当法人拠点 Sunプレイス 可児市若葉台2-14  
対 象 者 障がい者、障がい者の保護者、地域の方々(交流) 参加者28名

##### お料理体験

実施日時 10月21日・ピザ作り、12月26日・お餅つき、2月3日・クッキー作り  
場 所 当法人拠点 Sunプレイス 可児市若葉台2-14  
対 象 者 障がい児童 参加者 6名 12名 5名

##### お出かけイベント

実施日時 10月9日、1月20日  
場 所 大森畑へお芋ほり(知人のご好意)、花フェスタ記念公園、  
対 象 者 障がい児童、障がい者 6名 5名

### (2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

#### 課題

障害児童については、養護学校・支援学級等放課後や土曜日、日曜日、祝祭日や長期休みの余暇の過ごし方に困っている事です。やはり活動場所や機会に制限があり、障害者と同様に近くに児童デイサービスがないために、遠方のデイサービスを利用している家族もありますが、その送迎に大変な労力を必要とし、また受け入れ先についても定員があるので、利用できない状況にあります。

ピュア・マインドにおいては、同時に障害者と障害児童デイサービス事業を実施するには、資金や福祉人材の確保という面で大変難しいことです。

しかしその中で障害児童の保護者の協力を得ながら、余暇活動の支援や支援場所の提供。活動計画立案とその計画に基づいた実施。保護者間の意見交換や交流場所の提供等側面からの支援で行なうという課題に到達しました。

支援費制度ではカバーできないすきまの支援をお母さんレベルで取り組む身近な事業として、はつらつファンド助成の申請に至りました。

#### 期待される成果

障害者、障害児及びその家族をこの事業を通じて支援する事により、

1. 障害者(児)が人としての尊厳を取り戻す機会を提供できる。
2. 障害者(児)が将来に亘って生きがいを持って生活するきっかけを提案できる。
3. 障害児が余暇を楽しむ場ができる。

4. 障害者、障害児家族の介護負担の軽減により家族もいきいきと生活できる。
5. 意見交換会や交流会を持つことで、障害者やその家族が抱え込んでいた問題を皆と一緒に解決の方向へ向けることができる。
6. 事業実施地域の拠点ピュア・マインドが発信基地となり地域住民の障害者への理解を深めてもらう事により障害者福祉の向上と増進に寄与できる。

#### **活動の成果**(開催行事の参加規模、目的の達成度、効果等)

当法人が企画した行事に参加した方々と、参加しなかった方々が着実に増えている。

#### **目的の達成度・効果**

当法人が企画した活動は、社会参加や、経験する機会が極端に少なく、人の支援や周りの方々の理解が必要な障がい者やその家族にたいへん歓迎された。

当初企画した活動実施回数や内容には実際に実施するに至っては難しい面もあり、試行錯誤しながらではあったが、参加された障がい児童の輝く瞳や、浮かべる笑み、喜びの笑顔は、言葉で表現できない子達であっても一緒に活動する中で抽象的ですが、子ども達の魂の流れを感じとれた。

また、当法人と障がい者(児)家族との信頼関係も生まれ、相談援助も順調に進みつつある点や、保護者の方々からの声、喜びの感想によりその目的は十分に達成できた。

また本事業の効果は、地域の方々の協力を得ることにより障がい者への理解や、障がい者福祉が今まで以上に理解を深めて頂くことが出来た。

#### **(3) 今後の課題**

当法人がはつらつファンドの助成を受けて行った事業を実施できた事は良かったと思う。

障がい児童や障がい者支援事業を行っている事が地域の方々に少しずつ浸透し始めた。

余暇活動を支援継続していく事は当然の事ながら、ただ単に余暇活動を支援をするだけでなく、将来の自立に向けた支援も行っていく必要があると思う。障がい者や保護者も自分達も頑張らなくてはいけないと気付いていただけたと思う。

障がい者が社会に出る時、自立・就労が問題となってきた。障がい者就労調査・研究について展開期の事業助成採択が決まり、県税や県民の皆様から寄せられた大切な助成金をお預かりし、どのようにしたら障がい者就労や企業側では障がい者雇用ができるのかを調査・研究し就労支援に取り組んでいきたい。

更に、障がい者就労コーチの必要性やそれをサポートする体制等を模索し提案し、ある一つの流れを作り出していきたい。